

アレルギー疾患都道府県拠点病院 活動報告

国立病院機構福岡病院 アレルギーセンター



令和3年度活動報告

① アレルギー疾患患者や家族等に対する相談対応

福岡県アレルギー相談センター

開設日	受付方法	回答方法	回答期限	回答者
令和2年7月1日	<ul style="list-style-type: none"> 電話(週2回) FAX(随時) Mail(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> 電話 	<ul style="list-style-type: none"> 受付後1週間以内 	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー専門医 PAE(看護師)

相談内容内訳(令和3年4月～令和4年3月)

月	受付方法			相談内容									合計
	TEL	FAX	mail	食物アレルギー	気管支喘息	アトピー性皮膚炎	アレルギー性鼻炎	蕁麻疹	ワクチン	薬剤アレルギー	化学物質過敏症	アレルギー以外の疾患	
4月	6	0	3	4	0	1	0	0	0	1	2	1	9
5月	6	0	2	2	0	1	0	0	2	1	0	2	8
6月	5	1	1	2	0	1	0	0	1	2	0	1	7
7月	10	0	0	4	0	0	0	1	4	0	0	1	10
8月	7	0	6	3	0	1	0	1	5	3	0	0	13
9月	8	0	5	5	0	0	0	0	6	1	1	0	13
10月	7	0	4	2	0	0	0	0	0	3	6	0	11
11月	1	0	3	3	0	0	0	0	0	0	1	0	4
12月	0	1	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3
1月	3	0	4	5	1	0	0	0	0	1	0	0	7
2月	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
3月	5	0	3	3	0	0	1	3	0	1	0	0	8
計	60	2	33	37	1	4	1	5	18	14	10	5	95

② アレルギー講習会（医療従事者対象）

概要	受講対象者
<ul style="list-style-type: none"> 第1回 令和3年10月1日～8日（WEB開催） 第2回 令和3年11月6日（会場開催） 第3回 令和4年2月21日～28日（WEB開催） 令和3年度福岡県児童福祉施設等職員向けアレルギー研修会 	<p>アレルギー疾患診療・療養指導に従事する医療従事者 市区町村担当者 保健指導従事者 児童福祉施設等職員</p>
講師	内容（テーマ）
<ul style="list-style-type: none"> アレルギー専門医 PAE（小児アレルギーエドキュケーター） （アレルギーに詳しい看護師、栄養士、薬剤師） 	<p>食物アレルギー 花粉症 アトピー性皮膚炎</p> <p>スキンケア コロナワクチン エピペン</p>

令和3年度 第1回福岡県アレルギー講習会 (Webセミナー)

対象：アレルギー疾患診療・療養指導に従事する医療従事者及び市区町村担当者、保健指導の保健指導従事者（医師、薬剤師、看護師、助産師、栄養士、保健師等）

※本講習会では、日本アレルギー学会専門医2単位の取得可能です。

2021年10月1日（金・正午）～10月8日（金・正午）

- 第1部（20分）**
「小児科医からみたアトピー性皮膚炎」
講師：村上 洋子 先生
（国立病院機構福岡病院 小児科医師）
- 第2部（20分）**
「スキンケア指導」
講師：田中 祥子先生
（国立病院機構福岡病院 小児アレルギーエドキュケーター）
- 第3部（20分）**
「知っておきたい食物アレルギーのこと」
講師：松田 有加先生
（国立病院機構福岡病院 小児アレルギーエドキュケーター）
- 第4部（20分）**
「食物アレルギー患者への栄養指導」
講師：伴 尚子 先生
（福岡市立病院機構 福岡市立こども病院 栄養士 小児アレルギーエドキュケーター）

※今回講習会参加される方は事前にアカウント作成が必要となります。
※下記URL又は右側のQRコードから、お申し込み下さい。
※ <https://e-learning.fukuoka-allergy.jp/>
※詳細につきましてはアレルギーセンターホームページをご参照ください。

国立病院機構福岡病院アレルギーセンター
〒811-1394 福岡市南区原形4-39-1
TEL：092-565-5334（内線6513）
FAX：092-565-0702
<https://fukuoka-allergy.jp/>

主催：国立病院機構福岡病院アレルギーセンター 共催：公益社団法人日本アレルギー協会九州支部

令和3年度 第2回福岡県アレルギー講習会

対象：アレルギー疾患診療・療養指導に従事する医療従事者及び市区町村担当者、保健指導の保健指導従事者（医師、薬剤師、看護師、助産師、栄養士、保健師等）

2021年11月6日（土）会場開催（限定40名要予約）
13:00～16:30（12:45開場）

場所 電気ビル共創館3階カンファレンスA 福岡市中央区渡辺通2-1-82
会場参加費 1000円

※会場参加は令和3年10月18日（平日10:00～15:00）からFAXで事前予約が必要です。
※定員（40名）なり次第終了致します。キャンセルはアレルギーセンターホームページをご確認ください。
※当日E-learningの配信（スライドのみ配信）もいたします。（12月上旬予定）
※本講習会では、日本アレルギー学会専門医2単位の取得可能です。
※日本医師会生涯教育講座2単位（カリキュラムコード11,4,26,10）です。

プログラム

司会 西間 三穂先生（国立病院機構福岡病院 名誉院長）
開会の辞 吉田 誠 アレルギーセンター長（国立病院機構福岡病院 院長）

第1部 食物アレルギー 柴田 環美子先生（国立病院機構福岡病院小児科・アレルギーセンター顧問）
第2部 大人の食物アレルギー（症例を元に） 岡部 公嶺 先生（国立病院機構福岡病院アレルギー科）
第3部 アトピー性皮膚炎の治療の実際（症例を元に） 杉山 晃子先生（国立病院機構福岡病院アレルギー科科長・副センター長）
第4部 エピペン講習・スキンケア実践 池田 奈央 先生（国立病院機構福岡病院小児アレルギーエドキュケーター）

お問い合わせ 国立病院機構福岡病院アレルギーセンター
〒811-1394 福岡市南区原形4-39-1
TEL：092-565-5334（内線6513） FAX：092-566-0194
主催：国立病院機構福岡病院 共催：公益社団法人日本アレルギー協会九州支部

令和3年度 第3回福岡県アレルギー講習会 (Webセミナー)

対象：アレルギー疾患診療・療養指導に従事する医療従事者及び市区町村担当者、保健指導の保健指導従事者（医師、薬剤師、看護師、助産師、栄養士、保健師等）

※本講習会では、日本アレルギー学会専門医2単位の取得可能です。

2022年2月21日（月・正午）～2月28日（月・正午）

- 第1部（30分）**
花粉症と食物アレルギー 岸川 禮子 先生
（国立病院機構福岡病院アレルギー科・アレルギーセンター顧問）
- 第2部（30分）**
アレルギー性鼻炎 押川 千恵 先生
（国立病院機構福岡病院 耳鼻咽喉科科長）
- 第3部（30分）**
ウイルス感染と喘息（小児） 手塚 純一郎 先生
（福岡市立病院機構 福岡市立こども病院）
- 第4部（30分）**
アレルギー疾患全般とBiologic 福嶋 健人 先生
（国立病院機構福岡病院 アレルギー科）
- 第5部（30分）**
アレルギー疾患とコロナワクチン 杉山 晃子 先生
（国立病院機構福岡病院皮膚科・アレルギー科・アレルギーセンター顧問）

※今回より講習会参加される方は事前にアカウント作成が必要となります。
※下記URL又は右側のQRコードから、お申し込み下さい。
※ <https://e-learning.fukuoka-allergy.jp/>
※詳細につきましてはアレルギーセンターホームページをご参照ください。

国立病院機構福岡病院アレルギーセンター
〒811-1394 福岡市南区原形4-39-1
TEL：092-565-5334（内線6513）
FAX：092-565-0702
<https://fukuoka-allergy.jp/>

主催：国立病院機構福岡病院アレルギーセンター 共催：公益社団法人日本アレルギー協会九州支部

③ アレルギー疾患に対する情報提供

市民公開講座「呼吸器アレルギー教室」

新型コロナウイルス感染拡大を考慮⇒会場開催を中止

フリーペーパーを作成 (全22ページ)

福岡県庁及び福岡県内市区町村役所に配布

巻頭言
〜第3回 福岡病庁・呼吸器アレルギー教室へようこそ〜

国立病院機構福岡病院
院長・アレルギーセンター長
吉田誠

福岡県では、毎朝「アレルギー検査室」にて市民公開講座を開催してまいりました。そして、令和の開催とともに、新型コロナウイルスとともにも力をいれている呼吸器の病気も増え広がってまいりました。この機会に、名称を「呼吸器アレルギー教室」に変更し、第3回を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミック（世界的大流行）の影響を受けて、今年は会場での開催を断念せざるを得ませんでした。今年度は皆さんにおかれましては呼吸器とアレルギーに関する情報を提供したいという思いを込めて、名称を「呼吸器アレルギー教室」に変更し、第3回を開催いたしました。

今回は、福岡病庁が新型コロナウイルスと向き合ってきた経験を皆さんに伝えたいと考えています。新型コロナウイルス感染症は、呼吸器の病気であり、アレルギーと関係が深い病気であることが、近年にわたって明らかになってきました。アレルギーと新型コロナウイルス感染症との関係を詳しくお話ししたいと思います。

食物経口負荷試験 (食物アレルギー)
看護部小児科

食物アレルギーって？
食物アレルギーは、食べ物を食べたときに体にアレルギー反応が起きる病気です。特定の食べ物を食べたときに発疹や下痢・嘔吐などの様々な症状を引き起こします。

食物経口負荷試験って？
アレルギーがあると思われる食品を少量または複数回に分けて摂取し、症状の有無を確認する検査です。

検査する目的は？
①食物アレルギーがあるかどうかを診断する
②食物アレルギーがあるけれども、どのくらいの量を食べても大丈夫かを調べる
③食物アレルギーがまったことを確認する

食物アレルギーの治療は正しい診断に基づいた適切な治療が必要です。まずは食物アレルギーがあるのか、またどのくらいの量を食べていいのかを正しく知る必要があります。この検査を行うにあたり、お手紙や電話が提出して頂く必要があります。医師、看護師の指導のもと病院に来院し、検査を行います。

運動の注意
①どの運動でも体が動かさなければいいという考えは間違いです。運動の目的は、体を動かすことです。自分ができる範囲で行いましょう。
②運動は「少し疲れた」と感じる程度で行いましょう。最初は短時間からでも大丈夫です。自分ができる範囲で行いましょう。
③運動に自信がない方は、近くに入る人がいると安心です。運動をするのが怖い場合は、近くにいる人がいると安心です。運動をするのが怖い場合は、近くにいる人がいると安心です。

新型コロナウイルス感染症と呼吸器疾患
呼吸器内科 小川実

【感染状況】
新型コロナウイルス感染症の蔓延により、みなさんの生活に多大な影響が出ています。2021年8月30日時点で、新型コロナウイルス感染症の感染者数は累計145万を超え、死者数は16000人を超えています。速やかな感染拡大防止策が求められています。

【症状、経過、予防と検査】
新型コロナウイルス感染症の症状としては、多くは発熱、呼吸器症状、嗅覚・味覚障害、鼻汁、鼻閉などです。嗅覚・味覚障害は、呼吸器症状と関連が深いと考えられています。新型コロナウイルス感染症の検査方法は、PCR検査、抗原検査、抗体検査などがあります。

【検査結果】
PCR検査は、ウイルスの遺伝子を検出する検査で、検出率は95%以上です。抗原検査は、ウイルスのタンパク質を検出する検査で、検出率は80%程度です。抗体検査は、ウイルスに対する抗体を検出する検査で、検出率は90%程度です。

【治療】
新型コロナウイルス感染症の治療は、対症療法が中心です。発熱、呼吸器症状、嗅覚・味覚障害などの症状を緩和することが目的です。重症化した場合は、呼吸器支援装置や人工呼吸器などの治療が行われます。

【予防】
新型コロナウイルス感染症の予防には、手洗い、マスクの着用、換気の徹底などが重要です。また、ワクチンの接種も有効な予防策です。

【検査】
新型コロナウイルス感染症の検査方法は、PCR検査、抗原検査、抗体検査などがあります。PCR検査は、ウイルスの遺伝子を検出する検査で、検出率は95%以上です。抗原検査は、ウイルスのタンパク質を検出する検査で、検出率は80%程度です。抗体検査は、ウイルスに対する抗体を検出する検査で、検出率は90%程度です。

【治療】
新型コロナウイルス感染症の治療は、対症療法が中心です。発熱、呼吸器症状、嗅覚・味覚障害などの症状を緩和することが目的です。重症化した場合は、呼吸器支援装置や人工呼吸器などの治療が行われます。

【予防】
新型コロナウイルス感染症の予防には、手洗い、マスクの着用、換気の徹底などが重要です。また、ワクチンの接種も有効な予防策です。

【検査】
新型コロナウイルス感染症の検査方法は、PCR検査、抗原検査、抗体検査などがあります。PCR検査は、ウイルスの遺伝子を検出する検査で、検出率は95%以上です。抗原検査は、ウイルスのタンパク質を検出する検査で、検出率は80%程度です。抗体検査は、ウイルスに対する抗体を検出する検査で、検出率は90%程度です。

【治療】
新型コロナウイルス感染症の治療は、対症療法が中心です。発熱、呼吸器症状、嗅覚・味覚障害などの症状を緩和することが目的です。重症化した場合は、呼吸器支援装置や人工呼吸器などの治療が行われます。

【予防】
新型コロナウイルス感染症の予防には、手洗い、マスクの着用、換気の徹底などが重要です。また、ワクチンの接種も有効な予防策です。

【検査】
新型コロナウイルス感染症の検査方法は、PCR検査、抗原検査、抗体検査などがあります。PCR検査は、ウイルスの遺伝子を検出する検査で、検出率は95%以上です。抗原検査は、ウイルスのタンパク質を検出する検査で、検出率は80%程度です。抗体検査は、ウイルスに対する抗体を検出する検査で、検出率は90%程度です。

【治療】
新型コロナウイルス感染症の治療は、対症療法が中心です。発熱、呼吸器症状、嗅覚・味覚障害などの症状を緩和することが目的です。重症化した場合は、呼吸器支援装置や人工呼吸器などの治療が行われます。

【予防】
新型コロナウイルス感染症の予防には、手洗い、マスクの着用、換気の徹底などが重要です。また、ワクチンの接種も有効な予防策です。



呼吸器アレルギー教室 市民公開講座 2021

この1年間新型コロナウイルスと向き合ってきたこと、アフターコロナに向けて
✓新型コロナウイルス感染症と呼吸器疾患
✓アレルギー疾患とコロナワクチン
✓小児の新型コロナウイルス患者の対応について
✓ワンポイントアドバイス

独立行政法人 国立病院機構 福岡病院

福岡病庁
アレルギーセンター
相談窓口

アレルギー疾患とコロナワクチン
アレルギー科 朝山見子

「アレルギー疾患とコロナワクチン」は打つべきか？
多くの皆さんが疑問を抱かれています。

新型コロナウイルスワクチンは、アレルギー疾患と関係が深い病気であるアトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎、喘息などのアレルギー疾患患者にも接種が推奨されています。アレルギー疾患とコロナワクチンの関係について詳しくお話ししたいと思います。

【アレルギー疾患とコロナワクチン】
新型コロナウイルスワクチンは、アレルギー疾患と関係が深い病気であるアトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎、喘息などのアレルギー疾患患者にも接種が推奨されています。アレルギー疾患とコロナワクチンの関係について詳しくお話ししたいと思います。

【アレルギー疾患とコロナワクチン】
新型コロナウイルスワクチンは、アレルギー疾患と関係が深い病気であるアトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎、喘息などのアレルギー疾患患者にも接種が推奨されています。アレルギー疾患とコロナワクチンの関係について詳しくお話ししたいと思います。

【アレルギー疾患とコロナワクチン】
新型コロナウイルスワクチンは、アレルギー疾患と関係が深い病気であるアトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎、喘息などのアレルギー疾患患者にも接種が推奨されています。アレルギー疾患とコロナワクチンの関係について詳しくお話ししたいと思います。

【アレルギー疾患とコロナワクチン】
新型コロナウイルスワクチンは、アレルギー疾患と関係が深い病気であるアトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎、喘息などのアレルギー疾患患者にも接種が推奨されています。アレルギー疾患とコロナワクチンの関係について詳しくお話ししたいと思います。

【アレルギー疾患とコロナワクチン】
新型コロナウイルスワクチンは、アレルギー疾患と関係が深い病気であるアトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎、喘息などのアレルギー疾患患者にも接種が推奨されています。アレルギー疾患とコロナワクチンの関係について詳しくお話ししたいと思います。

【アレルギー疾患とコロナワクチン】
新型コロナウイルスワクチンは、アレルギー疾患と関係が深い病気であるアトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎、喘息などのアレルギー疾患患者にも接種が推奨されています。アレルギー疾患とコロナワクチンの関係について詳しくお話ししたいと思います。

【アレルギー疾患とコロナワクチン】
新型コロナウイルスワクチンは、アレルギー疾患と関係が深い病気であるアトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎、喘息などのアレルギー疾患患者にも接種が推奨されています。アレルギー疾患とコロナワクチンの関係について詳しくお話ししたいと思います。

【アレルギー疾患とコロナワクチン】
新型コロナウイルスワクチンは、アレルギー疾患と関係が深い病気であるアトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎、喘息などのアレルギー疾患患者にも接種が推奨されています。アレルギー疾患とコロナワクチンの関係について詳しくお話ししたいと思います。

小児の新型コロナウイルス患者の対応について
小児科 松崎真司

1. はじめに
昨春春先から続いた新型コロナウイルス感染症の流行ですが、既に罹患人数が増え感染の拡大が止まっているのは皆さんご存じのことです。

【小児の新型コロナウイルス患者の対応について】
小児科 松崎真司
昨春春先から続いた新型コロナウイルス感染症の流行ですが、既に罹患人数が増え感染の拡大が止まっているのは皆さんご存じのことです。その中で、今年度の感染拡大の影響を受けて、小児科でも重症患者も増加しています。

【小児の新型コロナウイルス患者の対応について】
小児科 松崎真司
昨春春先から続いた新型コロナウイルス感染症の流行ですが、既に罹患人数が増え感染の拡大が止まっているのは皆さんご存じのことです。その中で、今年度の感染拡大の影響を受けて、小児科でも重症患者も増加しています。

【小児の新型コロナウイルス患者の対応について】
小児科 松崎真司
昨春春先から続いた新型コロナウイルス感染症の流行ですが、既に罹患人数が増え感染の拡大が止まっているのは皆さんご存じのことです。その中で、今年度の感染拡大の影響を受けて、小児科でも重症患者も増加しています。

【小児の新型コロナウイルス患者の対応について】
小児科 松崎真司
昨春春先から続いた新型コロナウイルス感染症の流行ですが、既に罹患人数が増え感染の拡大が止まっているのは皆さんご存じのことです。その中で、今年度の感染拡大の影響を受けて、小児科でも重症患者も増加しています。

【小児の新型コロナウイルス患者の対応について】
小児科 松崎真司
昨春春先から続いた新型コロナウイルス感染症の流行ですが、既に罹患人数が増え感染の拡大が止まっているのは皆さんご存じのことです。その中で、今年度の感染拡大の影響を受けて、小児科でも重症患者も増加しています。

【小児の新型コロナウイルス患者の対応について】
小児科 松崎真司
昨春春先から続いた新型コロナウイルス感染症の流行ですが、既に罹患人数が増え感染の拡大が止まっているのは皆さんご存じのことです。その中で、今年度の感染拡大の影響を受けて、小児科でも重症患者も増加しています。

【小児の新型コロナウイルス患者の対応について】
小児科 松崎真司
昨春春先から続いた新型コロナウイルス感染症の流行ですが、既に罹患人数が増え感染の拡大が止まっているのは皆さんご存じのことです。その中で、今年度の感染拡大の影響を受けて、小児科でも重症患者も増加しています。

【小児の新型コロナウイルス患者の対応について】
小児科 松崎真司
昨春春先から続いた新型コロナウイルス感染症の流行ですが、既に罹患人数が増え感染の拡大が止まっているのは皆さんご存じのことです。その中で、今年度の感染拡大の影響を受けて、小児科でも重症患者も増加しています。

【小児の新型コロナウイルス患者の対応について】
小児科 松崎真司
昨春春先から続いた新型コロナウイルス感染症の流行ですが、既に罹患人数が増え感染の拡大が止まっているのは皆さんご存じのことです。その中で、今年度の感染拡大の影響を受けて、小児科でも重症患者も増加しています。

気管支喘息・COPDの吸入薬
薬剤部

吸入薬は、気管支喘息やCOPDの治療に有効な薬です。吸入薬は、気管支喘息やCOPDの治療に有効な薬です。吸入薬は、気管支喘息やCOPDの治療に有効な薬です。

福岡県アレルギー相談窓口
福岡県アレルギー相談窓口
アレルギーでお悩みの方に
相談無料

アレルギーに関する疑問に対して、専門知識をもった医師・看護師が回答

③ アレルギー疾患に対する情報提供

福岡病院アレルギーセンターホームページ(随時更新)

アレルギー疾患に関する情報

コロナワクチン接種 Q&A 情報

スキンケア方法の解説

病院情報検索

相談窓口

食物アレルギーレシピ



③ アレルギー疾患に対する情報提供

小学生対象アレルギー教室（オンライン）年2回開催

対象はアレルギー疾患患者	コロナ感染を考慮しWEB開催
食生活や日常生活での注意事項	

福岡病院アレルギーキャンプ企画
みんなで学ぼう！食物アレルギー

今年もアレルギーキャンプはごんねんながら中止になってしまいました。
 そのかわり今年はおオンラインでキャンプを行いたいと思います。
 パソコンやタブレットを使って同じ病気のともだちと楽しく学んでみませんか？
 毎日の生活で食物アレルギーについて疑問に思うことを話し合い、みんなで考え、
 自分でできることを増やしていきましょう。

日時	2021年8月7日(土曜日) 14時～15時30分
参加対象	年長児～小学6年生
参加費	無料
定員	20名程度

締め切り7月26日(月)まで延長

申し込み方法
 zoom を使用して行います

インターネットを利用し、福岡病院のホームページの「オンラインキャンプ」から「申し込みフォーム」へアクセスしてください。
 詳しいプログラムは裏面をご覧ください

申し込みフォーム URL
<https://forms.gle/BciLj8nXCwj1o4rUA>

申し込みフォーム QRコード

福岡病院 アレルギーキャンプ企画

冬のオンラインキャンプ

開催日 2022年 1月22日(土)
 14:00～15:30

参加対象の方
新小学1年生～小学6年生

クイズやレクリエーションもあるよ！
 同じ病気のお友達と一っしょに楽しく学ぼう！

アレルギーってなあに？
 何をしているところかな？

どんな治療をするの？
 このくずりは何だろう？

こんなこと、知ってるよ！
 おしえてもらったよ！

募集期間
 2021年11月1日(月)～
 2022年1月7日(金)まで お申し込みはこちらから→



③ アレルギー疾患に対する情報提供

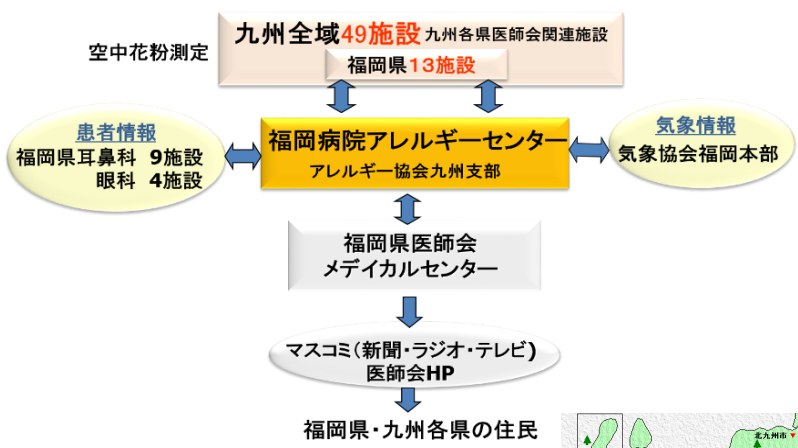
花粉情報活動

福岡県内**13**施設、九州全体で**49**施設

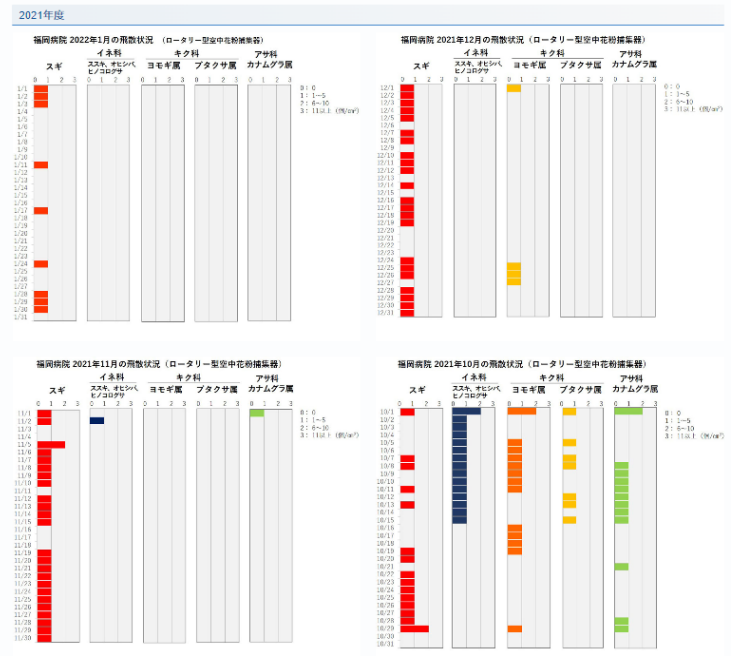
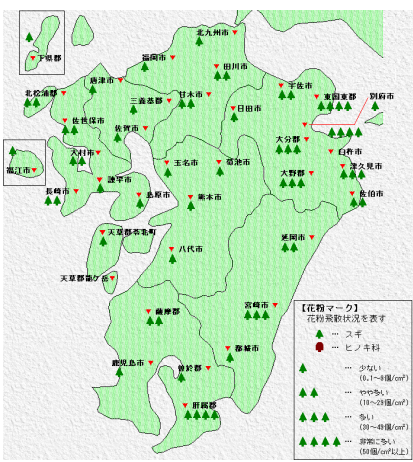
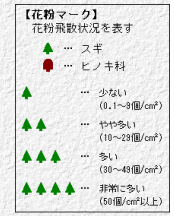
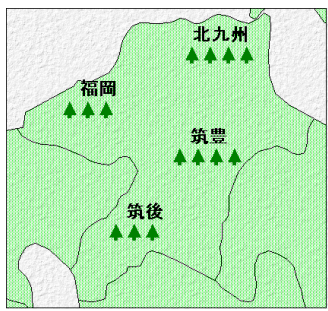
2月1日～4月15日 毎日情報更新

福岡県医師会HPと連携
1月～4月 スギ花粉、ヒノキ花粉情報
5月～6月 イネ科花粉情報

福岡病院アレルギーセンターHP
5月～1月の花粉情報



現在の飛散状況は以下のリンクで確認できます。
 この飛散情報は、当院で更新しています。



④ アレルギー疾患に係る診断等支援

福岡県内アレルギー診療可能な医療機関調査

□ 従前より県内アレルギー専門医の検索に苦慮



□ 容易に検索可能なシステムの構築の必要性



□ 県内医療機関に対して、アレルギー疾患に対する診療可否調査実施



□ アレルギー疾患に対する診療可能医療機関リスト作成



□ 医療機関検索システム完成は令和4年度

④ アレルギー疾患に係る診断等支援

学校・園への訪問食物アレルギー講習会 (主にエピペン講習会)	保健所への診療支援
<ul style="list-style-type: none">□ コロナ感染拡大のため現地での実技講習を原則中止	<ul style="list-style-type: none">□ 乳児検診等検診時に視聴するため、一般市民でもわかりやすいような動画の作成
<ul style="list-style-type: none">□ 希望する施設（園、学校、学童保育）等に対して実技動画DVDの送付	<ul style="list-style-type: none">□ 年齢・症状に合わせたDVDの配布
<ul style="list-style-type: none">□ 医療者が訪問せずに学習できるエピペン講習教材（DVD）を作成	<ul style="list-style-type: none">□ 保健所専用の専用メールアドレスの設定
<ul style="list-style-type: none">□ 令和4年度はエピペン講習教材（DVD）を貸出し開始	
<ul style="list-style-type: none">□ 令和4年3月末時点で34施設からの申し込み（学校・幼稚園等）	

令和4年度の取り組み

① アレルギー疾患患者や家族等に対する相談対応

相談内容内訳(令和4年4月～令和4年6月)

月	受付方法			相談内容									合計
	TEL	FAX	mail	食物アレルギー	気管支喘息	アトピー性皮膚炎	アレルギー性鼻炎	蕁麻疹	ワクチン	薬剤アレルギー	化学物質過敏症	アレルギー以外の疾患	
4月	0	0	5	1	0	0	0	1	0	1	2	0	5
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	9	0	2	3	0	0	2	0	1	2	2	1	11
計	9	0	7	4	0	0	2	1	1	3	4	1	16

※ 県民からの質問に対して迅速な回答が可能となるよう、アレルギー協会九州支部と共同し、当日対応の時間を設けることとした

② アレルギー講習会(医療従事者対象)

概要

- 第1回：令和4年8月22日～29日 (WEB開催)
- 第2回：令和4年11月19日 (会場開催予定)
- 第3回：令和5年2月18日 (会場開催予定)
- 取得可能単位
日本アレルギー学会
会場実施の際は日本医師会生涯教育

受講対象者

- アレルギー疾患診療・療養指導に従事する医療従事者
- 市区町村担当者、保健指導従事者
- 対象職種：医師・薬剤師・看護師・助産師・栄養士・保健師

講師

- アレルギー専門医
- PAE (看護師・薬剤師・管理栄養士)
- CAI

内容(テーマ)

- 食物アレルギー、アレルギー性鼻炎、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、スキンケア、エピペン講習、ワクチン関連など

令和4年度
第1回福岡県アレルギー講習会
(Webセミナー)
※本講習会では、日本アレルギー学会専門医2単位の取得可能です。

2022年8月22日(月・正午)～8月29日(月・正午)

対象：アレルギー疾患診療・療養指導に従事する医療従事者及び市区町村担当者、保健所等の保健指導従事者(医師、薬剤師、看護師、助産師、栄養士、保健師等)

第1部(8分)
『2022年度当センター活動の紹介』
国立病院機構 福岡病院院長・アレルギーセンター長

第2部(30分)
『災害に備えるーアレルギー患者支援の考え方ー』
国立病院機構 福岡病院小児科医長 吉田 誠 先生

第3部(30分)
『アレルギー疾患に対する災害時の薬剤管理について』
国立病院機構 福岡病院 薬剤師 盛 麻美 先生

第4部(30分)
『食物アレルギー児に対する災害時の対策PAE(栄養士)の視点から』
国立病院機構 肥前精神医療センター 栄養管理室長 上野 佳代子 先生

第5部(20分)
『アレルギーセンターHPに掲載の食物アレルギーレシピ紹介ー災害時の食物アレルギーレシピ』
国立病院機構福岡病院 栄養士 小野 菜月 先生

※今回講習会参加される方は事前にアカウント作成が必要となります。
※下記URL又は右側のQRコードから、お申し込み下さい。
※<https://e-learning.fukuoka-allergy.jp/>
※詳細につきましてはアレルギーセンターホームページをご参照ください。

お問い合わせ

国立病院機構福岡病院アレルギーセンター
〒811-1304 福岡市南区屋形原4-39-1
TEL：092-565-5534 (内線6513)
FAX：092-565-0702
<https://fukuoka-allergy.jp/>

主催：国立病院機構福岡病院アレルギーセンター 共催：公益社団法人日本アレルギー協会九州支部

※ 第2回以降はコロナ感染の状況を考慮しつつ会場開催を予定

③ アレルギー疾患に係る診断等支援

アレルギー診療可能な医療機関検索システム

- 令和3年度に福岡県内医療機関にアレルギー疾患診療可否のアンケートを実施
- アンケート結果をもとに、常勤アレルギー専門医の有無、地域、疾患名、入院可否、対応可能な治療・検査等各項目で医療機関を選択できるシステムを構築

[ホーム](#) > 病院情報検索

病院情報検索

福岡県内でアレルギー疾患の診療ができる病院やクリニックを探することができます。

地域や市町村、疾患名や検査内容、治療方法、アレルギー専門医の有無、検査入院可否の条件で絞り込むことができます。

疾患名

検査

治療

※ [地域][市町村] は複数選択可能です。検索窓には手入力でご入力ください。また、半角スペース区切りで複数のキーワードを指定することができます。

※ 施設情報についての修正や情報更新等は、[福岡県アレルギー相談窓口](#) ▶ 「メールアドレス」より必要事項をご記入の上、ご連絡をお願い致します。

件表示 検索:

④ アレルギー疾患に対する情報提供

市民公開講座「呼吸器アレルギー教室」

- 3年ぶり会場においての開催を予定
- 内容はコロナウイルス関連も含め、一般の方々の興味を考えて作成
- 福岡県庁に広報を依頼したい

エピペン講習

- 食物アレルギー症状の対応教材の作成（DVD）
- 知識のみでなく、実際に行動できることを目標にシミュレーションを取り入れた学習教材
- 感染状況を踏まえ、また、県内全域にも支援できる体制作り

スキンケア教室

- 福岡県内にお住まいのアトピー性皮膚炎でお困りの方を対象に毎月開催
- スキンケアの指導者として、知識及び指導方法を学びたい医療従事者も対象

親子アレルギー教室

- アレルギー疾患治療中の小学生及び保護者、学校職員を対象にオンライン開催
- 子供たちが「アレルギーって何？」の疑問に対して楽しく学べる教室